

令和4年度第3回川崎市社会教育委員会議図書館専門部会 次第

日時 令和4年12月5日(月)

午後2時～4時

会場 川崎市立中原図書館 多目的室

開 会

1 資料確認

2 議事録確認

3 報告事項

- (1) 図書館だよりについて
- (2) 各館の活動について

4 協議事項

- (1) 今期の図書館専門部会のテーマの選定について
- (2) 「あり方」について
- (3) その他

5 その他

- (1) 次回日程について

【配布資料】

資料No.1：令和4年度第2回川崎市社会教育委員会議図書館専門部会会議録(案)

資料No.2：令和4・5年度図書館専門部会テーマについて(案)

参考資料：図書館だより 第59号

各館の活動、イベント情報、乙女文楽鑑賞会

今後の市民館・図書館のあり方 冊子(令和3(2021)年3月 川崎市教育委員会)

令和4・5年度図書館専門部会テーマについて（案）

第2回専門部会の協議から研究・協議テーマについてのキーワード・課題等を整理しました。

〈共通キーワード〉

「今後の図書館の運営のあり方」について

※図書館運営の基本的な考え方

『市民にとって役立つ、地域の中で頼れる【知と情報の拠点】をめざして』

（1）〈行きたくなる図書館〉

～使いやすく、居心地よく～ ： 使いやすいしくみづくり

- ① 市民の意見が活かされる工夫
- ② 子どもたちの知的欲求を満たす場所
- ③ 3つの方向性に即したそれぞれユニークな活動
- ④ 「人づくり」、「つながりづくり」、「地域づくり」のプラットフォーム（基盤・共通の土台）としての図書館
- ⑤ 様々な世代と地域とつながる市立図書館
- ⑥ 「見える化」や図書館事業のアピール
- ⑦ 図書館 PR の具体化：「見える化」と「広報」の必要性

（2）〈まちに飛び出す図書館〉

～お役立ち情報をナビゲート～ ： 読書支援

- ① 資料整備と資料提供のあり方
- ② 市制100周年にむけた学校等での歴史や地域学習の位置づけ
～学校記念誌、副読本等の活用～
- ③ 電子書籍のメリット・デメリット等について

(3) 〈地域の‘チカラ’を育む図書館〉

～頼れる“知と情報の拠点”に～ : 地域や市民に役立つ

- ① 地域の読書ボランティアとの連携
- ② 資料、情報の提供にとどまらない図書館サービスの新たな取り組み
- ③ 他部署との連携による多様なサービスの充実
就労支援や地域文化財の紹介事業など具体的な取り組みを整理
- ④ 「知と情報の拠点」としての川崎市立図書館の様々な取り組みの実際と課題

(4) その他

- ① 図書館員の「専門性」のあり方、いま求められる図書館職員像
- ② 今後の指定管理導入による直営図書館の役割の変化
- ③ 現在実施している図書館事業のまとめ、今後につなげる工夫

テーマ案

(案1) 『市民に役立ち、地域で頼れる【知と情報の拠点】としての図書館』

～「今後の市民館・図書館のあり方」を踏まえて～

(案2) 『これからの図書館：知と情報の拠点を指すために』

～今までの取り組みとこれからの取り組み～

(案3) 『図書館における【人づくり】・【つながりづくり】・【地域づくり】と【見える化】を考える』

～行きたくなる図書館、まちに飛び出す図書館、地域の‘チカラ’を育む図書館への取り組み～

●副題の有無や内容については、今後の研究の状況によって変更等を検討することができます。